

# 「重複服薬者への市町村支援事業」について①

## 【目的・目標】

- お薬手帳を活用し、お薬手帳利用者本人の薬に関する意識の改善を図るとともに、被保険者を介し、医療機関等と市町村との情報共有を図り、重複服薬者の減少および医療費の適正化を図ることを目的とする。
- 啓発リーフレット及びポケット付きお薬手帳ホルダーを作成し、県内市町村における、重複服薬者への支援の取組を促進することを目標とする。

## 【対象者の抽出】

- KDBシステムの保健事業介入支援管理機能を活用し、複数の医療機関（2医療機関以上）から重複処方が発生している対象者を条件とし、抽出を行った。

## 「重複服薬者への市町村支援事業」について②

### 【参加市町村】

- 本事業参加を希望した30市町村
- 対象者抽出は、参加市町の基準にて行った

### 【取組み内容】

- 後期高齢者医療広域連合被保険者に対して同様の取組を実施する県薬務課および「医薬品の適正使用促進協議会」と協議し作成したリーフレットを本年度も活用
- 事業参加市町に対し、啓発リーフレットおよびポケット付きお薬手帳ホルダーを送付し、市町における取組状況について、年度末までに報告を求める。



# 福岡県内における重複服薬者数

## 重複服薬者の推移

